

中学校に給食導入を！

市政報告
vol.21

危機感持つて取り組むべき

立憲民主党市会議員やまうら英太

先月の市議会予算特別委員会で、「ハマ弁」の市費負担が2016年度に1食あたり6千円を超え、翌17年度も2千円程度かかる見込みであることが分かりました。

いるからです。

成長期の中学生に重要

これほどの高額となったのは、市が利用率20%と想定したなか、1%に張っています。

私は、横浜市の中学校

その理由は、共働き世帯が増えるなか、保護者のご負担を減らすには給食は有効な手段なこと。成長期の中学生に栄養のバランスが取れた食事は必要不可欠なこと。特に義務教育においては、家

庭の経済格差に左右されるような事柄を設けてはいけないことなどです。

一方横浜市は今のところ、家庭弁当と「ハマ弁



横浜市議員

やまうら 英太

《略歴》

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グロービス経営大学院修了、㈱ニトリ
◆横浜市認定保育園園長(保育士) ◆衆議院議員秘書 ◆2015年 横浜市議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan

横浜市は税金が使われていることに危機感を持つべき。中学生、保護者らのニーズに応えるように市に要請していきます。

も学校給食導入に踏み切るべきです。